



ご挨拶

神奈川山梨教会連合会

会長 福田光一



か、しっかりと見て行くことが必要だと思います。

一方、震度3〜5クラスの地震が頻繁に起こり、積雪の成人の日になるなど、自然界の動きにも注意を払って行かねばなりません。

さて、二期目の連合会長の御用も最終年となりました。ここまですを振り返りつつ、教祖130年のお年柄をどう進めて行くか、2年目を迎えた「神人

あいよかけよの生活運動」をどう実践して行くかに、連合会として、教会として、信奉者として取り組んでまいりたいと思います。

神奈川山梨教会連合会としましては、8月31日の教師信徒合同研修会をはじめ、例年実施の各行事を取り進めてまいります。さらに、首都圏フォーラムと東京都教会連合会共催で7月7日に開催されます「教祖130年記念集会 祈りを今に、喜びを共に」への協力と参加。そして10月5〜6日のご本部教祖130年生神金光大神大祭の首都圏団体参拝へも、勢を揃えて参加させて頂きたいと思えます。

「この世をお道でつつみまわしたい」と願われた教祖様の「御神願成就」のお役に立つべく、難儀の元である社会問題を、本教の信心を土台に考え、原発、遺伝子、いじめなど個々の問題に対する態度を表明し、祈りの実践となすべきことをなしてまいりたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

平成25年度 神奈川山梨教会連合会 総会報告



去る一月二十六日(土)午後一時三〇分より、神奈川教会を会場として「平成二五年度 神奈川山梨教会連合会総会」が開催されました。

出欠状況は、教会総数二十一教会中、出席十六教会、委任四教会、欠席一教会で、人数別の内訳は、教師出席十三名、委任五名、欠席一名、信徒出席十名、委任十名、欠席一名でした。

開会行事に続いて、議長に横山光雄先生(丸子教会)が選任され、①平成二四年度事業報告案、②平成二四年度決算案、③平成二五年度事業計画案、④平成二五年度予算案、そして昨年度行われました「神奈川山梨布教120年記念事業」の会計報告について審議がなされ、承認されました。

以下に、主な事業報告と事業計画を抜粋して掲載しております。各教会には総会の

記録をお送りしておりますので、併せてご覧ください。
今年度も連合会活動へのご理解とご協力をお願い致します。

平成 24 年度

神奈川山梨教会連合会事業報告(抜粋)

▼神奈川山梨布教 120 年記念集会

日時：9 月 8 日 (土) 13 時 30 分～16 時
会場：鎌倉芸術館 小ホール
内容：講演(講師：林雅信師 那覇教会長)、
吉備舞、教会紹介スライド
参加者：233 名

▼神奈川山梨布教 120 年記念団体参拝

日時：10 月 6 日 (土) ～7 日 (日)
団体参拝参加者 114 名 (11 教会)

▼ご霊地集会 (7 日午前 会場：修徳殿)

講師：近藤金雄師(布教 2 部長、篠山教会長)、
意見表明者：山田信二師(横浜西教会)
吉田文枝氏(藤沢教会)
集会参加者：155 名

▼みんなのつどい

日時：7 月 16 日 (祝) 10 時～15 時
会場：「みのり」活動場所(あきる野市)
内容：トウモロコシ狩り、ジャガイモ掘り、草取りとバーベキュー

参加者：54 名(10 教会、大人 37・小人 17)

▼女性のつどい

日時：7 月 5 日 (木) 13 時～16 時
会場：武蔵小杉教会
内容：岩門信子氏の講話「信心して安心の暮らしを」と懇談
参加者：45 名(10 教会)

▼講話と夕食の会

日時：12 月 14 日 (金) 15 時 30 分～
会場：鶴見教会
講師：櫻井智行師
参加者 40 名(11 教会) 夕食までは 23 名

平成 25 年度

神奈川山梨教会連合会事業計画(抜粋)

◆基本方針

世界人類の助かりのために、
金光大神の信心を求め現す

◆活動方針

1. 教祖 130 年にあたり、「神人あいよかけよの生活運動」をすすめる
2. 教師信徒一体となつての布教活動及び、社会活動の推進
3. 人の助かる人材の育成

☆講話と夕食の会

が開催されました

12 月 14 日 (金) 15 時半、鶴見教会で、信徒部主催の「講話と夕食の会」が開かれ、鶴見教会在籍の櫻井智行先生を講師に、映画と宗教について、お話し頂いた。

先生は、早稲田大学大学院出身、映画評論家として活躍された専門家で、先生の頭脳の引き出しの中には、さまざまな分野の映画が入っているであろうが、当日は宗教に関係する映画に限定して、お話し頂いた。「ダ・ヴィンチ・コード」を入りに、



過去製作された映画を年代別に整理しながら、お話が進められたが、宗教映画にも、年代によって、特徴があることがよく理解できた。映画が出来た 1900 年頃から、キリスト教

1. 総会

日時：1月26日13時30分～15時30分
会場：神奈川教会

議事：平成24年度事業報告・決算審議、平成25年度事業計画・予算審議他

2. 運営委員会

年4回の開催を予定(4・6・8・12月)

3. 「教祖130年教師信徒合同研修会」の開催

日時：8月31日(土)

13時30分～15時30分

会場：鶴見教会

内容：講話 金光教と映画について

講師：櫻井智行師(鶴見教会)を予定

4. 連合会長選挙の実施

日時：10月15日(火) 14時～開票

会場：神奈川教会

5. ホームページ

活用と展開

URL＝<http://www.kyokairengokai.jp>

6. 連合会だより

『かりん』の発行 年4回(2・4・7・10月)各4ページ、820部

7. 社会活動

災害救援活動への対応と、各種収集活動の実践

8. みんなのつどい

レクリエーションを通して、世代を超えた交流を図る

日時：7月27日(土) 10時～

会場：丹沢湖

9. 女性のつどい

内容：マスのつかみ取り
教会の枠を超えた親睦と交流を図る

日時：7月5日(金) 13時～

会場：生麦教会

内容：仲宗根三重子さんのお話

10. 教師会

教会布教の充実活性に向けて研鑽を進める

① 教師会の開催(4回開催 2/18 野毛・6・8・12月を予定)

② ひいらぎの会の開催(2回開催を予定 うち1回は祭式講習会 6/12 鶴見教会を予定)

11. 信徒部

① 講話と夕食の会：11/30(土) 15時30分～ 会場：神奈川教会

講師：桜井邦朋氏(元神奈川大学学長)

② 地域交流会：鎌倉散策 4/29(祝)

③ 山梨県地区の活動：研修会の開催

④ 役員会の開催(5・9・11月の3回開催を予定)

12. 首都圏フォーラム活動

フォーラム活動への協力とフォーラム会議への出席

・ 教祖130年記念公開講演会への参加

7/7(日) 銀座プロッサムホール

・ 教祖130年記念団体参拝への参加

10/5～6実施

を広めようという時代が続き、そこから、懐疑の時代、脱キリスト教の時代を経て、今は再認の時代かというのが、講師の見方であり、「ダ・ヴィンチ・コード」は脱キリスト教時代の産物であるらしい。

講師は、2010年に製作された「ツリ・オブ・ライフ」という映画に、金光教的なものを感じるという。即ち、自然や天地は神と繋がっているのだという主張を持つ映画、とのこと。天地のおかげの中で暮している、おかげの中で生かされて生きているという金光教的な考え方と通じるものがあるとか。確かに「神はいと高き所に居られる」という、従来の西欧の神とは一線を画す考え方で、映画を通じて、世界が変わりつつあることを私も実感できた。

久しぶりに大学で講義を受けているような気分になれる2時間だった。当日の参加者は11教会から40名、夕食まで参加されたのは23名であった。

(大塚東子)



☆ひいらぎの会 報告

昨年、十二月三日(月)、ひいらぎの会を開催しました。冬空の寒い一日でしたが、七名の参加者と逗子マリーナ近くのレストランにて、昼食を頂きながら一年間の反省をまじえて、各々の思いを語り合いました。

昼食後、会場を鎌倉教会に移し、昨年度のひいらぎの会の方向性のひとつである、「互いの信心興隆を進める」との願いを受けて、根津の会(本郷教会手続きの会)で研修された、『直信・山本定次郎のことも』の講題で、金光教横川教会・山本 正師(定次郎師の曾孫)の講話CDを聴かせて頂きました。

直信教会の先生の話で、教祖様のやさしいみ教えに触れ、改めて教祖様の信心を頂きました。もう一つの「祭式の勉強」につきましては、今年度、本部より派遣の講師を招き、六月十二日に開催の予定です。今年度も引き続き、横山(丸子教会)と奥川(平塚教会)が担当させて頂きまますので、よろしくお願い致します。

(奥川美登子)



金光教教祖130年記念集会

「祈りを今に、喜びを共に」

○オープニング 時を超えて

○第1部 記念講演

井手美知雄先生(行橋教会)

○第2部 箏曲演奏

深海さとみ氏他(生田流宮城会)

○フィナーレ 七夕によせて

劇と歌でつづるみんなの願い

・日時 7月7日(日) 13時開演

15時50分終了

・会場 銀座ブロッサム 入場無料

・交通

東京メトロ有楽町線

新富町駅1番出口徒歩1分

東京メトロ日比谷線・都営地下鉄浅草線

東銀座駅3・5番出口徒歩8分

主催 金光教東京都教会連合会

金光教首都圏フォーラム

「やりがいをいただく」

丸子教会 横山光雄

仕事や家事、子育てに追われるママさん、なかでも母親にとって子育ては大変な事である。それが二人目、三人目ともなると大変かとおもいきや、意外とスムーズに育てている。それは無理をせず、背伸びしない生き方を覚えたからである。

あるママさんのことである。三人目の子が生まれて暫くして、何か違うことに気がつく。他の誰も気付いてくれない。でもひとりで抱えていたら、つぶれてしまふ自分がいた。それは殆どわからないような発達障害であった。

この子は勝手にできた子ではない。神様が私達親を育てる為にさずかった子である。そう思うと、喜びや楽しさ、やりがいが生まれてくる。多くのことは求めず、子育てと信心生活を楽してみたいとの笑顔が見えたママの姿であった。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田光一

横浜市神奈川区青木町六一二十五

〒221-0057 金光教神奈川教会内